

第9回 たのしい仲間の
初夏の○○おんがくかい



本日はありがとうございました

期日 2022. 6. 24 (金)
会場 スタジオ・エンザ

1. 演奏者 山本 周治

演奏曲 恋のアランフェス 作曲者 ホアキン・ロドリーゴ

練習期間中に怪我をしてしまいましたが、美しい曲なので頑張ってみます。原曲はアランフェス協奏曲の第2楽章です。

アランフェス協奏曲は、ホアキン・ロドリーゴが1939年に作曲した協奏曲で、1940年バルセロナにて初演されました。

特にこの第2楽章は、その哀愁をたたえた美しい旋律からポール・モーリア楽団などによりポピュラークラシックとして編曲され世界中で広く知られています。

ロドリーゴは、スペインの古都アランフェスが作曲当時のスペイン内戦で被害を受けたことから、平和への思いを込めて作曲したと言われています



2. 演奏者 横山 晶子

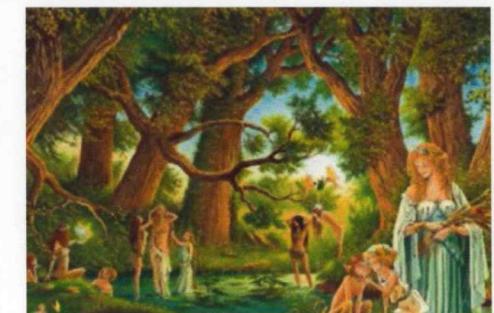
演奏曲 水神の踊り 作曲者 フェレール

スペインのギタリスト・作曲家フェレール（1835—1916）の曲です。前回の「スペイン風セレナーデ」に続いてフェレールに挑戦です。これはホ短調とホ長調が交差して独特の雰囲気を作り、また曲の場面も変化があって面白い曲です。

この曲はこんなイメージでしょうか。

～静かな森を歩いていると薄い霧が立ち込めてきて・・・じっと目を凝らしていると、そこには鏡のような水面の湖が姿を現します。するとその周りの霧が集まり水神となり、やがて水神は厳かにゆるやかに舞い始めます。そばにいた妖精や森の小動物も楽しげに踊り始めます。

やがて楽しい宴の時が過ぎると水神が治めの舞を踊り、湖を覆っていた幻想的な霧も消えていき、静かな余韻を残して音楽は閉じていきます～



3. 演奏者 福崎 實

演奏曲① ドナウ河の漣 さざなみ 作曲者 イバノピッチ

2005年に仕事でハンガリーのブタペストに行った時に見た悠久のドナウ河の印象が強く残っております。この町は「ドナウの真珠」とか「ドナウのバラ」と呼ばれているそうです。

演奏曲② 影を慕いて 作曲者 古賀政男

影を慕いては日本人の心に響く名曲で、いつまでも歌い継がれていくと思いますので、いつでもギターで弾ける様にしておきたいです。

①ドナウ河はヨーロッパと東ヨーロッパを結んで流れる大河。ドイツに発し、やがて黒海に注ぎます。1889年に開催されたパリ万国博覧会で演奏されたことで世界的に有名になりました。美しいメロディを聴いているだけで旅情がそそられます。

②今更言うまでもなく、古賀政男・藤山一郎の代表曲としての認知度にとどまらず、まさに昭和の流行歌の傑作。昭和初期、暗い世相が蔓延していた1928年夏、古賀は青根温泉から見た蔵王の夕焼けを見て詞が浮かんだといいます。



4. 演奏者 草野 文喜

演奏曲 アメイジング・グレイス イギリス民謡

テキストでこれから練習する曲なので、また美しいメロディなので演奏します。

作曲者は不明

この曲が讃美歌になじみの浅い人たちの間にも伝わったのは、ジュディ・コリンズというアメリカのフォークシンガーが取り上げたことがきっかけでした。ジュディが歌ったのは1970年のこと、しかし詞がまとめられたのは200年以上前のイギリスです。

詞は故郷イギリスを離れ、海を渡り時を超えて今では最も愛される讃美歌という人もいます。

作詞者は

聖職者のジョン・ニュートン、しかし彼は奴隸貿易で巨万の富を得た元奴隸商人という過去がありました。それに対する悔恨とそれにも拘わらず赦しを与えた神の愛に対する感謝が歌われています。



Special Gift

演奏者 佐藤 茂勝 先生

演奏曲 ラグリマ 作曲者 タレガ

NHK「ギターを弾こう」でも教材になっていたタレガの名曲です。



19世紀スペインの国民楽派を代表する作曲家でクラシックギターの名曲「アルハンブラの思い出」を残したことでも有名なフランシス・タレガですが、クラシックギター愛好家のためによく小品も書き、ラグリマもその一つです。

スペイン語で「涙」を意味するこの曲は、タイトル通りの柔らかく、どこか懐かしく少しもの悲しいメロディです。

一説によると、1891年12月にタレガがマジョルカ島での演奏旅行を終えて帰宅した際、3日前に亡くなった娘のことを知り、その時の悲しみを曲に込めて作られたといわれています。



Memo

